

電気通信事業法第33条第2項及び第7項に基づく第1種指定電気通信設備との接続に関する契約約款の一部改正

旧	新
	<p><u>附 則（平成23年3月31日東相制第10-7040号）</u> <u>この改正規定は、平成23年6月1日から実施します。</u></p>

技術的条件集

第1章～第2章 (略)

技術的条件集別表

1 ～ 25.4 (略)

26 IP通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様

26.2 IP通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様 (10GBASE-LR インタフェース)

27.1 ～ 38 (略)

技術的条件集

第1章～第2章 (略)

技術的条件集別表

1 ～ 25.4 (略)

26 IP通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様 (IPv4 トンネル方式)

26.2 IP通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様 (IPv4 トンネル方式-10GBASE-LR インタフェース)

26.3 IP通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様 (IPv6 トンネル方式)

26.4 IP通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様 (IPv6 トンネル方式-10GBASE-LR インタフェース)

27.1 ～ 38 (略)

第1章 通則

第1条 (略)

用語	意味
(略)	(略)
(92) IP通信網ISP接続用ルータ接続インタフェース	協定事業者がISP接続用ルータにおけるIP通信網終端装置と接続する時に適用するインタフェース種別
(略)	(略)

第2条 ～ 第3条 (略)

第1章 通則

第1条 (略)

用語	意味
(略)	(略)
(92) IP通信網ISP接続用ルータ接続インタフェース(トンネル方式)	協定事業者がISP接続用ルータにおけるIP通信網終端装置とトンネル方式を利用して接続する時に適用するインタフェース種別
(略)	(略)

第2条 ～ 第3条 (略)

第2章 形態別技術的条件
第26節 形態14

第110条 (略)

(インタフェース仕様)

第111条 当社網と直接協定事業者網間で使用するインタフェース仕様は技術的条件集別表26又は26.2のとおりとします。ただし、技術的条件集別表26の2の下位層(レイヤ1～2)仕様については、2.1.1、2.1.2、2.1.3、2.1.4又は2.1.5のいずれか1つを適用することとします。

第112条 (略)

第2章 形態別技術的条件
第26節 形態14

第110条 (略)

(インタフェース仕様)

第111条 当社網と直接協定事業者網間で使用する、インタフェース種別と利用するIP毎のインタフェース仕様は次のとおりとします。ただし、技術的条件集別表26の2の下位層(レイヤ1～2)仕様については、2.1.1、2.1.2、2.1.3、2.1.4又は2.1.5のいずれか1つを適用することとします。

インタフェース種別	利用するIP	インタフェース仕様
10GBASE-LR インタフェース	IPv4	技術的条件集別表26.2に示すとおりとします。
	IPv6	技術的条件集別表26.4に示すとおりとします。
	IPv4/IPv6	技術的条件集別表26.2および26.4に示すとおりとします。
1000BASE-LX インタフェース	IPv4	技術的条件集別表26に示すとおりとします。
	IPv6	技術的条件集別表26.3に示すとおりとします。
	IPv4/IPv6	技術的条件集別表26および26.3に示すとおりとします。
1000BASE-SX インタフェース	IPv4	技術的条件集別表26に示すとおりとします。
100BASE-X インタフェース		
ATMインタフェース		
専用線二次群速度ユーザ・網インタフェース		
専用線一次群速度ユーザ・網インタフェース		

第112条 (略)

技術的条件集別表 1 相互接続箇所毎の接続番号

1. 直接協定事業者との接続箇所ごとの接続番号
(略)

(1/6)～(4/6) (略)

(5/6)

インタフェース種別	(略)	IP 通信網 I S P 接続用 ルータ接続 インタフェ ース
接続番号		形態 1 4
分類 1 (00XY～) 設置中継系番号	(略)	(略)
分類 2 (00XY～) 国際系番号		
分類 3 (0A～J) 端末系番号		
分類 4 (0A0-CDE～) 携帯・自動車電話系番号		
分類 5 (0A0-CDE～) 接続型 P H S 系番号		
分類 6 (0A0-CDE～) 活用型 P H S 系番号		
分類 7 (0A0-CDE～) 無線呼出し系番号		
分類 8 (0091～) 非設置中継系番号		
分類 9 (050C～K) I P 電話番号		

(6/6) (略)

技術的条件集別表 1 相互接続箇所毎の接続番号

1. 直接協定事業者との接続箇所ごとの接続番号
(略)

(1/6)～(4/6) (略)

(5/6)

インタフェース種別	(略)	IP 通信網 I S P 接続用 ルータ接続 インタフェ ース(トンネ ル方式)
接続番号		形態 1 4
分類 1 (00XY～) 設置中継系番号	(略)	(略)
分類 2 (00XY～) 国際系番号		
分類 3 (0A～J) 端末系番号		
分類 4 (0A0-CDE～) 携帯・自動車電話系番号		
分類 5 (0A0-CDE～) 接続型 P H S 系番号		
分類 6 (0A0-CDE～) 活用型 P H S 系番号		
分類 7 (0A0-CDE～) 無線呼出し系番号		
分類 8 (0091～) 非設置中継系番号		
分類 9 (050C～K) I P 電話番号		

(6/6) (略)

2. サービス番号への接続条件
(略)

2. サービス番号への接続条件
(略)

技術的条件集別表 26 I P 通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様

(略)

技術的条件集別表 26 I P 通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様 (IPv4 トンネル方式)

(略)

技術的条件集別表 26.2 I P 通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様
(10GBASE-LR インタフェース)

(略)

技術的条件集別表 26.2 I P 通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様 (IPv4
トンネル方式-10GBASE-LR インタフェース)

(略)

技術的条件集別表 26.3 I P通信網 I S P 接続用ルータ接続インタフェース仕様 (IPv6 トンネル方式)

[参照規格一覧]

JIS C5973 (F04 形単心光ファイバコネクタ 1998.5.20)

JIS C6835 (石英系シングルモード光ファイバ素線 1991)

IETF RFC791 (Internet Protocol 1981.9)

IETF RFC792 (Internet Control Message Protocol 1981.9)

IETF RFC826 (An Ethernet Address Resolution Protocol:Or Converting Network Protocol Addresses to 48.bit Ethernet Address for Transmission on Ethernet Hardware 1982.11)

IETF RFC894 (A Standard for the Transmission of IP Datagrams over Ethernet Networks 1984.4)

IETF RFC2460 (Internet Protocol,Version 6 (IPv6) Specification 1998.12)

IETF RFC2461 (Neighbor Discovery for IP Version 6 (IPv6) 1998.12)

IETF RFC2463 (Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification)

IETF RFC2545 (Use of BGP-4 Multiprotocol Extensions for IPv6 Inter-Domain Routing 1999.3)

IETF RFC2865 (Remote Authentication Dial In User Service(RADIUS) 2000.6)

IETF RFC2866 (RADIUS Accounting 2000.6)

IETF RFC3576 (Dynamic Authorization Extensions to Remote Authentication Dial In User Service (RADIUS)2003.7)

IETF RFC4760 (Multiprotocol Extensions for BGP-4 2007.1)

IETF RFC4818 (RADIUS Delegated-IPv6-Prefix Attribute 2007.4)

IEEE std 802.3-2002 (IEEE Standard for Information technology--Telecommunications and informationexchange between systems--Local and metropolitan area networks--Specificrequirements--Part 3: Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection (CSMA/CD)Access Method and Physical Layer Specifications)

IEEE std 802.3ae-2002 (IEEE Standard for Information technology--Telecommunications and informationexchange between systems--Local and metropolitan area networks--Specificrequirements--Part 3: Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection (CSMA/CD)Access Method and Physical Layer Specifications--Amendment:Media Access Control (MAC)Parameters, Physical Layer and Management Parameters for 10 Gb/s Operation)

1. インタフェース規定点

図1に、協定事業者との接続イメージを示す。当社と協定事業者とは、インタフェース点（以下「POI」という）で接続する。

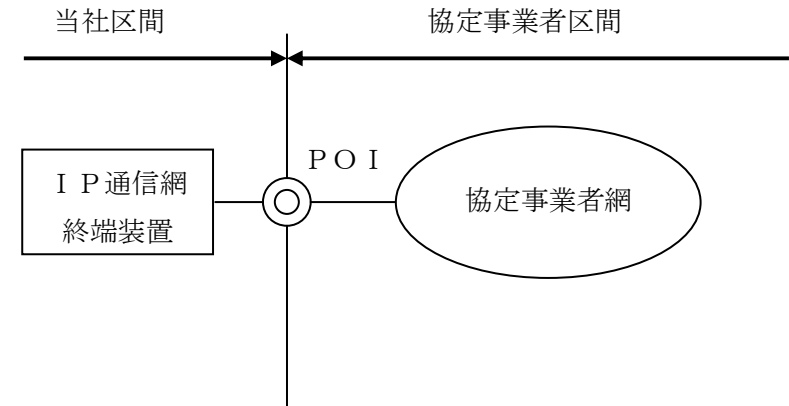


図1 協定事業者との接続イメージ

2. 下位層（レイヤ1～2）仕様

2.1 物理層（レイヤ1）仕様

IEEE Std 802.3 Clause36,38 準拠

コネクタ仕様 JIS C5973 準拠

光ケーブル仕様 JIS C6835 SSM A 準拠

2.2 データリンク層（レイヤ2）仕様

IEEE Std 802.3 Clause4 準拠

2.2.1 論理的条件フレーム構成

IEEE Std 802.3 Clause3 および IETF RFC894 準拠

2. 2. 2 物理アドレス解決方法

IPv4 IETF RFC826 準拠

IPv6 IETF RFC2461 準拠

3. ネットワーク層（レイヤ3）仕様

3. 1 I P

IPv4 IETF RFC791 準拠（R A D I U Sメッセージのネットワーク層として利用する）

IPv6 IETF RFC2460 準拠（マルチキャストアドレスは、リンクローカルスコープを除き、サポートしない）

3. 2 I C M P

ICMPv4 IETF RFC792 準拠

ICMPv6 IETF RFC2463 準拠

3. 3 ルーティング方式

スタティックルーティングまたは4. 3に規定するダイナミックルーティング

4. 上位層（レイヤ4以上）仕様

4. 1 制御情報交換方式

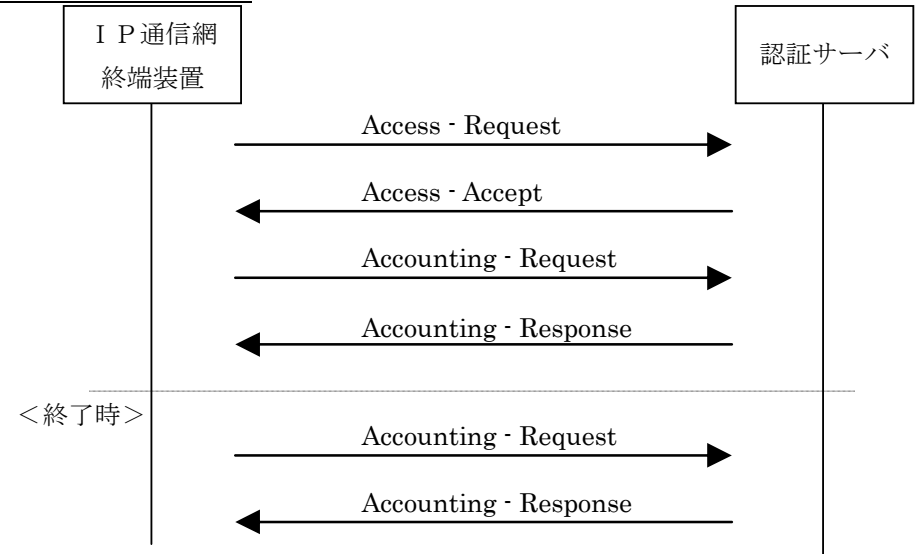
当社のIP通信網終端装置と協定事業者の認証サーバ間の制御情報交換はIETF RFC2865、IETF RFC2866、IETF RFC3576およびIETF RFC4818に準拠したRADIUSプロトコルにより行う。このとき、IETF RFC2865、IETF RFC2866、IETF RFC3576およびIETF RFC4818の中で記述されているRADIUSサーバおよびRADIUS課金サーバは協定事業者の認証サーバを、RADIUSクライアントについては当社のIP通信網終端装置を、それぞれ示すものとする。

なお、4. 1. 1（3）項および（4）項に示すシーケンスの利用については、当社と協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

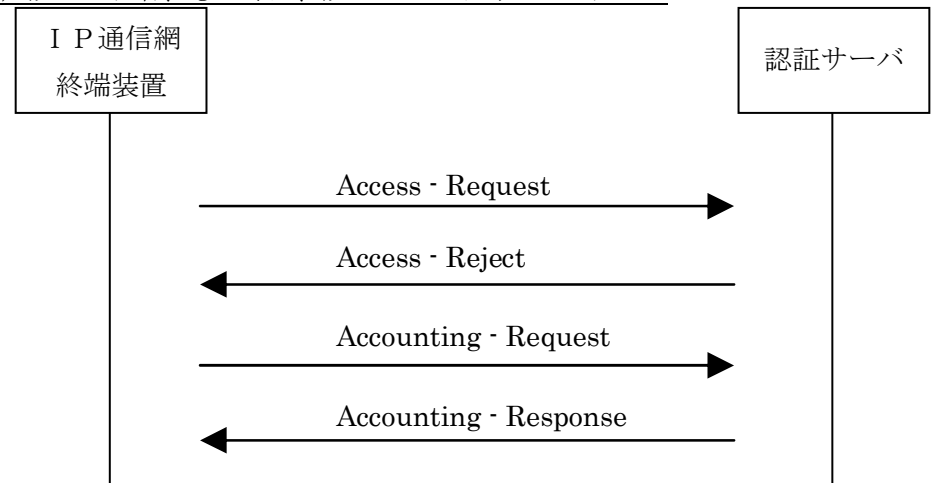
4. 1. 1 RADIUSシーケンス

当社のIP通信網終端装置と協定事業者の認証サーバ間のシーケンスは以下のとおり。

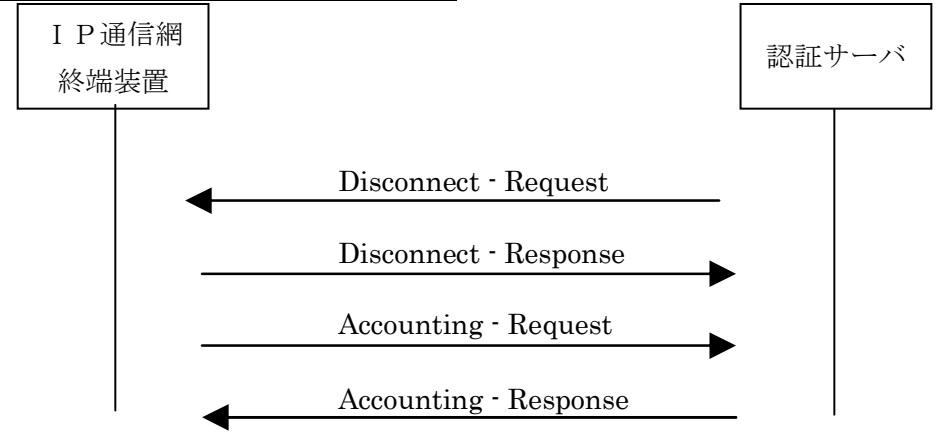
(1) 正常時のシーケンス



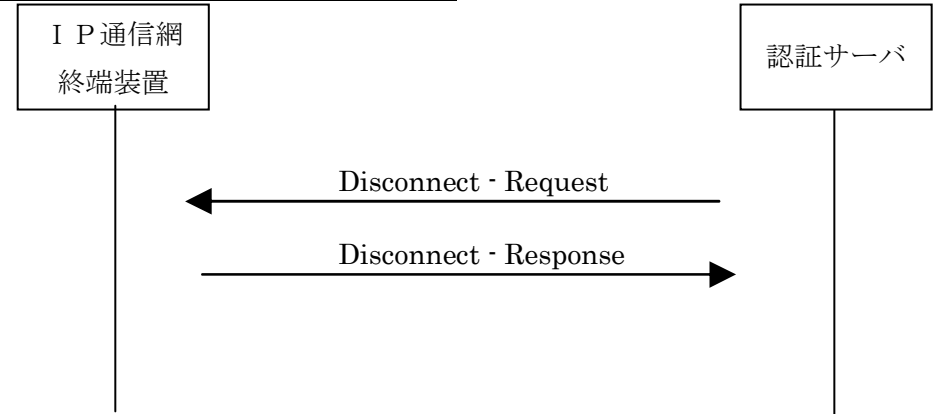
(2) 誤ユーザ名、もしくは、誤パスワード時のシーケンス



(3) セッション解除成功時のシーケンス



(4) セッション解除失敗時のシーケンス



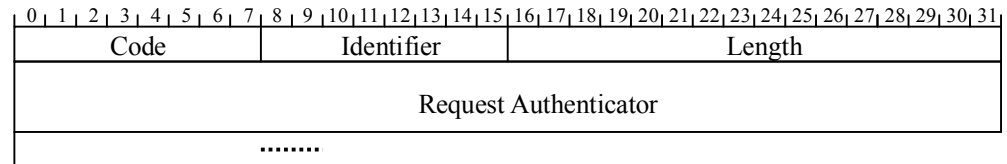
4. 1. 2 パケットフォーマット

当社のIP通信網終端装置と協定事業者の認証サーバ間で用いる制御情報パケットのフォーマットを以下に示す。

フィールド名		フィールド長	値
<u>Code</u>	<u>コード</u>	<u>1 オクテット</u>	<u>1 : Access-Request</u> <u>2 : Access-Accept</u> <u>3 : Access-Reject</u> <u>4 : Accounting-Request</u> <u>5 : Accounting-Response</u>
<u>Identifier</u>	<u>識別子</u>	<u>1 オクテット</u>	
<u>Length</u>	<u>パケット長</u>	<u>2 オクテット</u>	
<u>Authenticator</u>	<u>認証符号</u>	<u>16 オクテット</u>	<u>(属性情報)</u>
<u>Attributes</u>	<u>属性</u>	<u>可変長</u>	

(1) アクセス要求 (Access-Request)

エンド・ユーザの協定事業者網への接続の可否を決定するために使われる情報を、当社のIP通信網終端装置から協定事業者の認証サーバへ送出するパケット。



フィールド名		フィールド長 (octet)	値
<u>Code</u>	<u>コード</u>	<u>1</u>	<u>1</u>
<u>Identifier</u>	<u>識別子</u>	<u>1</u>	
<u>Length</u>	<u>パケット長</u>	<u>2</u>	
<u>Authenticator</u>	<u>認証者</u>	<u>16</u>	
<u>Attributes</u>	<u>属性</u>	<u>可変</u>	<u>(属性情報)</u>

(2) アクセス応答 (Access-Accept)

ユーザに対して、サービスを始めるために必要となる情報を提供するパケットで、協定事業者の認証サーバから当社の I P 通信網終端装置へ送られる。Access-Request の属性が受け入れられた時に、協定事業者の認証サーバはコードフィールドに「2」を入れて送出する。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
Code			Identifier													Length															
Response Authenticator																															
Attributes																															

フィールド名	フィールド名	フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	2
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	16	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(3) アクセス拒否 (Access-Reject)

Access-Request の属性が受け入れられない時に、協定事業者の認証サーバはコードフィールドに「3」を入れて送出する。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
Code			Identifier													Length															
Response Authenticator																															
.....																															

フィールド名		フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	3
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	1 6	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(4) アカウント要求 (Accounting-Request)

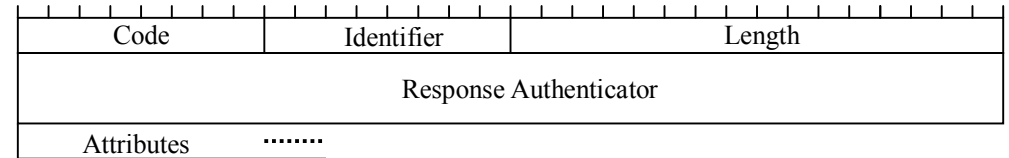
当社の IP 通信網終端装置から協定事業者の認証サーバに送られるパケットで、ユーザに提供されるサービスに対するアカウント情報を含んでいる。当社の IP 通信網終端装置はコードフィールドに「4」を入れて送出する。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
Code				Identifier								Length																			
Request Authenticator																															
Attributes																														

フィールド名		フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	4
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	1 6	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(5) アカウント応答 (Accounting-Response)

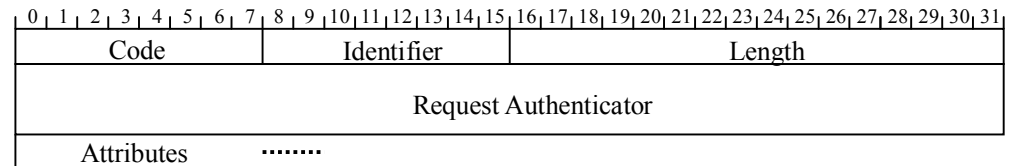
協定事業者の認証サーバから当社の I P 通信網終端装置に送られるパケットで、Accounting-Request が正しく受け取られ、記録されたことを示す。このとき、協定事業者の認証サーバはコードフィールドに「5」を入れて送出する。



フィールド名	フィールド名	フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	5
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	16	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(6) 切断要求 (Disconnect-Request)

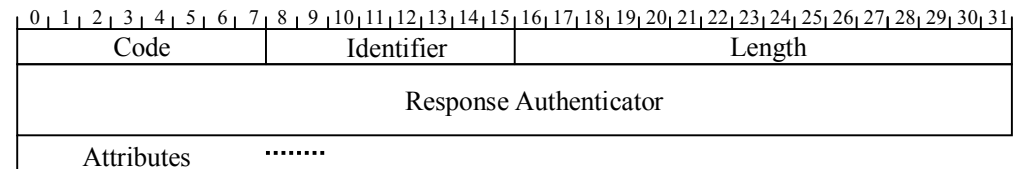
協定事業者の認証サーバから当社の I P 通信網終端装置に送られるパケットで、切断するセッションを特定する情報を含んでいる。協定事業者の認証サーバはコードフィールドに「40」を入れて送出する。



フィールド名		フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	4 0
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	1 6	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(7) 切断応答 (Disconnect-Response)

当社の IP 通信網終端装置から協定事業者の認証サーバに送られるパケットで、ACK の場合は Disconnect-Request が正しく受け取られ、セッションが切断されたことを示し、NAK の場合には Disconnect-Request が受け入れられなかったことを示す。当社の IP 通信網終端装置はコードフィールドに、ACK の場合には「4 1」を、NAK の場合には「4 2」を入れて送出する。



フィールド名		フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	4 1 (ACK) 4 2 (NAK)
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	1 6	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

4. 2 エンド・ユーザへのIPアドレス割り当て方式

エンド・ユーザにダイナミックに割り当てるIPv6プレフィックスは、協定事業者の認証サーバでプールすることとし、協定事業者の認証サーバから当社のIP通信網終端装置に転送するAccess-Acceptパケットの中に設定されるAttributeのうちDelegated-IPv6-Prefixにユーザへ割り当てるIPv6プレフィックスを設定する。

4. 3 ダイナミックルーティングプロトコル

BGP-4+ IETF RFC2545 準拠

IETF RFC4760 準拠

なお、ダイナミックルーティングプロトコルの設定内容等の細目については、当社と協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

5. IP通信網終端装置へ同時に接続可能なPPPセッション数の上限値について

IP通信網終端装置へ同時に接続可能なPPPセッション数の上限値については、当社と協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

技術的条件集別表 26.4 I P通信網 I S P接続用ルータ接続インタフェース仕様(IPv6
トンネル方式-10GBASE-LR インタフェース)

[参照規格一覧]

JIS C5973 (F04形単心光ファイバコネクタ 1998.5.20)

JIS C6835 (石英系シングルモード光ファイバ素線 1991)

IETF RFC791 (Internet Protocol 1981.9)

IETF RFC792 (Internet Control Message Protocol 1981.9)

IETF RFC826 (An Ethernet Address Resolution Protocol:Or Converting Network Protocol
Addresses to 48.bit Ethernet Address for Transmission on Ethernet
Hardware 1982.11)

IETF RFC894 (A Standard for the Transmission of IP Datagrams over Ethernet Networks
1984.4)

IETF RFC2460 (Internet Protocol,Version 6 (IPv6) Specification 1998.12)

IETF RFC2461 (Neighbor Discovery for IP Version 6 (IPv6) 1998.12)

IETF RFC2463 (Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol
Version 6 (IPv6) Specification)

IETF RFC2545 (Use of BGP-4 Multiprotocol Extensions for IPv6 Inter-Domain Routing
1999.3)

IETF RFC2865 (Remote Authentication Dial In User Service(RADIUS) 2000.6)

IETF RFC2866 (RADIUS Accounting 2000.6)

IETF RFC3576 (Dynamic Authorization Extensions to Remote Authentication Dial In User
Service (RADIUS)2003.7)

IETF RFC4760 (Multiprotocol Extensions for BGP-4 2007.1)

IETF RFC4818 (RADIUS Delegated-IPv6-Prefix Attribute 2007.4)

IEEE std 802.3-2002 (IEEE Standard for Information technology--Telecommunications
and informationexchange between systems--Local and metropolitan area
networks--Specificrequirements--Part 3: Carrier Sense Multiple
Access with Collision Detection (CSMA/CD)Access Method and Physical
Layer Specifications)

IEEE std 802.3ae-2002 (IEEE Standard for Information
technology--Telecommunications and informationexchange between
systems--Local and metropolitan area
networks--Specificrequirements--Part 3: Carrier Sense Multiple
Access with Collision Detection (CSMA/CD)Access Method and Physical
Layer Specifications--Amendment:Media Access Control
(MAC)Parameters, Physical Layer and Management Parameters for 10 Gb/s
Operation)

1. インタフェース規定点

図1に、協定事業者との接続イメージを示す。当社と協定事業者とは、インタフェース点（以下「POI」という）で接続する。

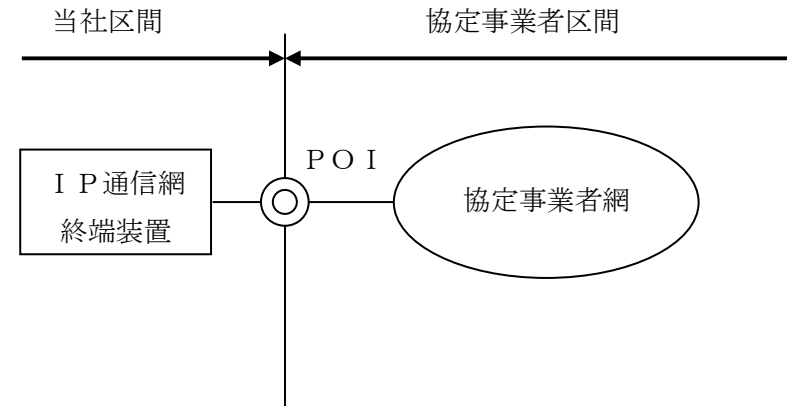


図1 協定事業者との接続イメージ

2. 下位層（レイヤ1～2）仕様

2.1 物理層（レイヤ1）仕様

IEEE Std 802.3ae Clause49, 51, 52 準拠

コネクタ仕様 JIS C5973 準拠

光ケーブル仕様 JIS C6835 SSM A 準拠

2.2 データリンク層（レイヤ2）仕様

IEEE Std 802.3 Clause4 準拠

2.2.1 論理的条件フレーム構成

IEEE Std 802.3 Clause3 および IETF RFC894 準拠

2. 2. 2 物理アドレス解決方法

IPv4 IETF RFC826 準拠

IPv6 IETF RFC2461 準拠

3. ネットワーク層（レイヤ3）仕様

3. 1 I P

IPv4 IETF RFC791 準拠（R A D I U Sメッセージのネットワーク層として利用する）

IPv6 IETF RFC2460 準拠（マルチキャストアドレスは、リンクローカルスコープを除き、サポートしない）

3. 2 I C M P

ICMPv4 IETF RFC792 準拠

ICMPv6 IETF RFC2463 準拠

3. 3 ルーティング方式

4. 3項に規定するダイナミックルーティング

4. 上位層（レイヤ4以上）仕様

4. 1 制御情報交換方式

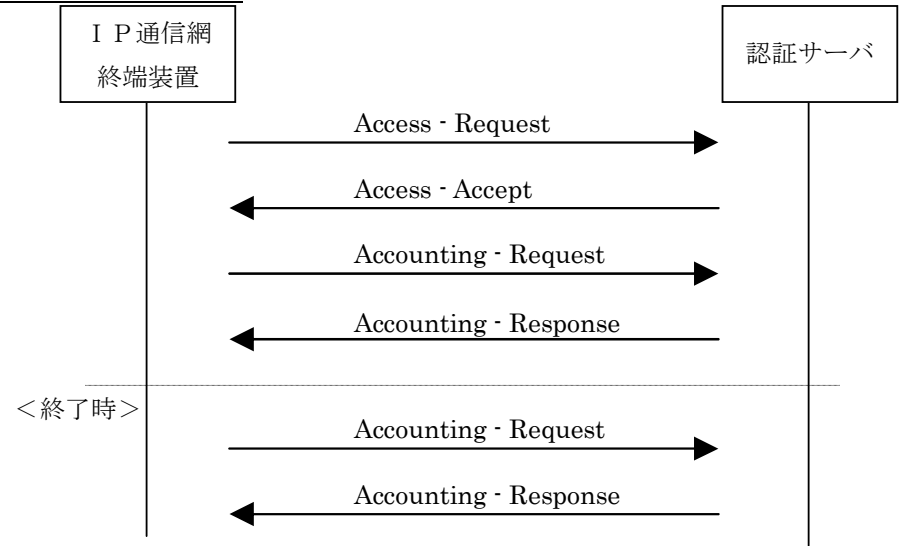
当社のIP通信網終端装置と協定事業者の認証サーバ間の制御情報交換はIETF RFC2865、IETF RFC2866、IETF RFC3576およびIETF RFC4818に準拠したRADIUSプロトコルにより行う。このとき、IETF RFC2865、IETF RFC2866、IETF RFC3576およびIETF RFC4818の中で記述されているRADIUSサーバおよびRADIUS課金サーバは協定事業者の認証サーバを、RADIUSクライアントについては当社のIP通信網終端装置を、それぞれ示すものとする。

なお、4. 1. 1（3）項および（4）項に示すシーケンスの利用については、当社と協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

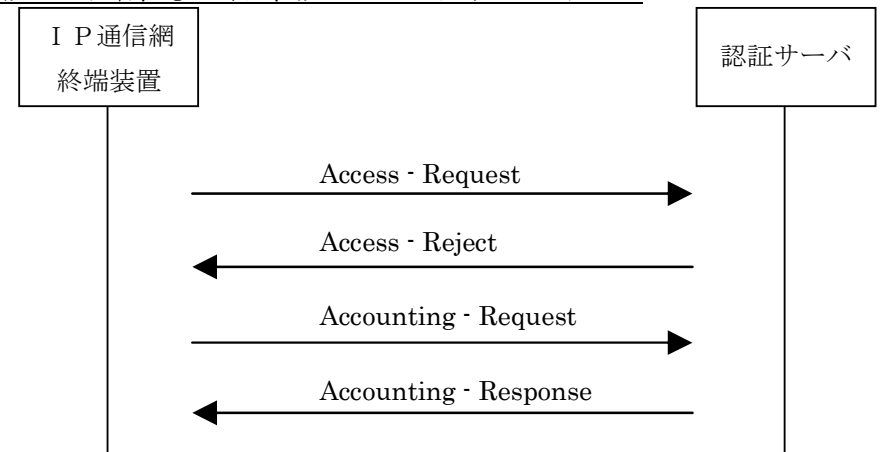
4. 1. 1 RADIUSシーケンス

当社のIP通信網終端装置と協定事業者の認証サーバ間のシーケンスは以下のとおり。

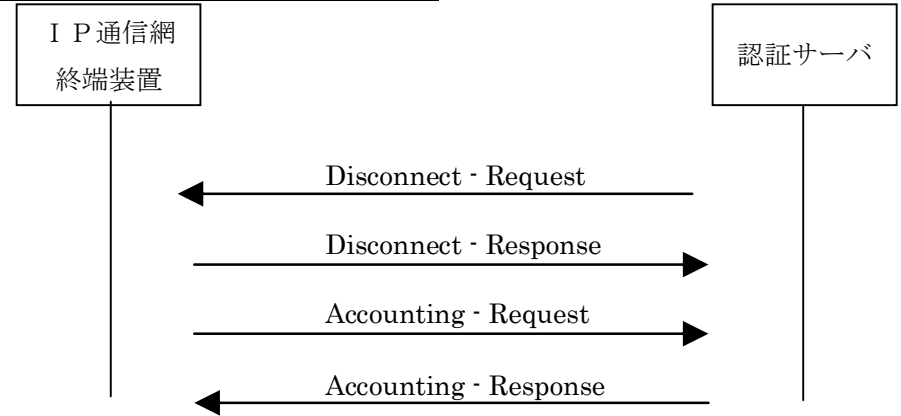
(1) 正常時のシーケンス



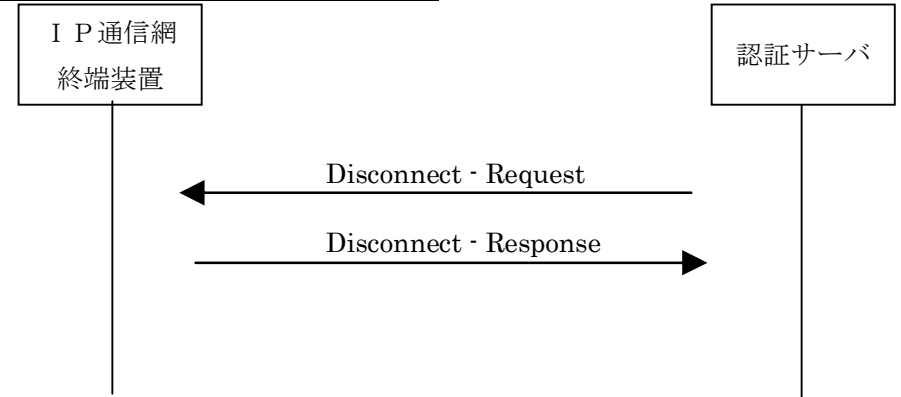
(2) 誤ユーザ名、もしくは、誤パスワード時のシーケンス



(3) セッション解除成功時のシーケンス



(4) セッション解除失敗時のシーケンス



4. 1. 2 パケットフォーマット

当社の IP 通信網終端装置と協定事業者の認証サーバ間で用いる制御情報パケットのフォーマットを以下に示す。

フィールド名		フィールド長	値
<u>Code</u>	<u>コード</u>	1 オクテット	1 : Access-Request 2 : Access-Accept 3 : Access-Reject 4 : Accounting-Request 5 : Accounting-Response
<u>Identifier</u>	<u>識別子</u>	1 オクテット	
<u>Length</u>	<u>パケット長</u>	2 オクテット	
<u>Authenticator</u>	<u>認証符号</u>	16 オクテット	(属性情報)
<u>Attributes</u>	<u>属性</u>	可変長	

(1) アクセス要求 (Access-Request)

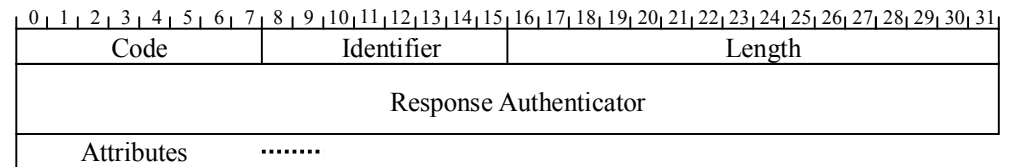
エンド・ユーザの協定事業者網への接続の可否を決定するために使われる情報を、当社の IP 通信網終端装置から協定事業者の認証サーバへ送出するパケット。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
Code								Identifier								Length															
Request Authenticator																															
.....																															

フィールド名		フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	1
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	1 6	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(2) アクセス応答 (Access-Accept)

ユーザに対して、サービスを始めるために必要となる情報を提供するパケットで、協定事業者の認証サーバから当社の IP 通信網終端装置へ送られる。Access-Request の属性が受け入れられた時に、協定事業者の認証サーバはコードフィールドに「2」を入れて送出する。



フィールド名		フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	2
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	1 6	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(3) アクセス拒否 (Access-Reject)

Access-Request の属性が受け入れられない時に、協定事業者の認証サーバはコードフィールドに「3」を入れて送出する。

Code	Identifier	Length
Response Authenticator		
Attributes	

フィールド名	フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1
Identifier	識別子	1
Length	パケット長	2
Authenticator	認証者	1 6
Attributes	属性	可変 (属性情報)

(4) アカウント要求 (Accounting-Request)

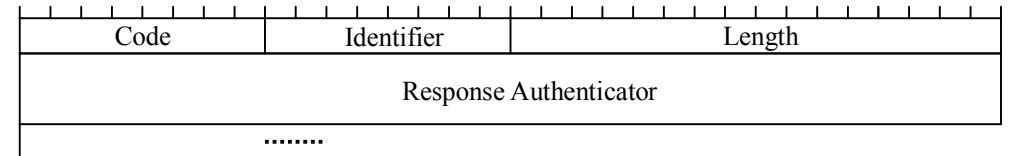
当社の I P 通信網終端装置から協定事業者の認証サーバに送られるパケットで、ユーザに提供されるサービスに対するアカウント情報を含んでいる。当社の I P 通信網終端装置はコードフィールドに「4」を入れて送出する。

Code	Identifier	Length
Request Authenticator		
Attributes	

フィールド名		フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	4
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	16	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(5) アカウント応答 (Accounting-Response)

協定事業者の認証サーバから当社の IP 通信網終端装置に送られるパケットで、Accounting-Request が正しく受け取られ、記録されたことを示す。このとき、協定事業者の認証サーバはコードフィールドに「5」を入れて送出する。



フィールド名		フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1	5
Identifier	識別子	1	
Length	パケット長	2	
Authenticator	認証者	16	
Attributes	属性	可変	(属性情報)

(6) 切断要求 (Disconnect-Request)

協定事業者の認証サーバから当社の I P 通信網終端装置に送られるパケットで、切断するセッションを特定する情報を含んでいる。協定事業者の認証サーバはコードフィールドに「4 0」を入れて送出する。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		
Code	Identifier	Length
Request Authenticator		
Attributes	

フィールド名	フィールド長 (octet)	値
Code	コード	1 4 0
Identifier	識別子	1
Length	パケット長	2
Authenticator	認証者	1 6
Attributes	属性	可変 (属性情報)

(7) 切断応答 (Disconnect-Response)

当社の I P 通信網終端装置から協定事業者の認証サーバに送られるパケットで、ACK の場合は Disconnect-Request が正しく受け取られ、セッションが切断されたことを示し、NAK の場合には Disconnect-Request が受け入れられなかったことを示す。当社の I P 通信網終端装置はコードフィールドに、ACK の場合には「4 1」を、NAK の場合には「4 2」を入れて送出する。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		
Code	Identifier	Length
Response Authenticator		
Attributes	

フィールド名		フィールド長 (octet)	値
<u>Code</u>	<u>コード</u>	<u>1</u>	<u>4 1 (ACK)</u>
			<u>4 2 (NAK)</u>
<u>Identifier</u>	<u>識別子</u>	<u>1</u>	
<u>Length</u>	<u>パケット長</u>	<u>2</u>	
<u>Authenticator</u>	<u>認証者</u>	<u>1 6</u>	
<u>Attributes</u>	<u>属性</u>	<u>可変</u>	<u>(属性情報)</u>

4. 2 エンド・ユーザへの IP アドレス割り当て方式

エンド・ユーザにダイナミックに割り当てる IP v 6 プレフィックスは、協定事業者の認証サーバでプールすることとし、協定事業者の認証サーバから当社の IP 通信網終端装置に転送する Access-Accept パケットの中に設定される Attribute のうち Delegated-IPv6-Prefix にユーザへ割り当てる IP v 6 プレフィックスを設定する。

4. 3 ダイナミックルーティングプロトコル

BGP-4+ IETF RFC2545 準拠

IETF RFC4760 準拠

なお、ダイナミックルーティングプロトコルの設定内容等の細目については、当社と協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。

5. IP 通信網終端装置へ同時に接続可能な PPP セッション数の上限値について

IP 通信網終端装置へ同時に接続可能な PPP セッション数の上限値については、当社と協定事業者間で別途協議の上、決定することとする。